

ごみゼロやまがた推進県民会議各委員の所属団体における活動状況等一覧（県民部会）

所 属	役 職	氏 名	令和５年度の３Ｒに向けた活動状況	令和６年度の３Ｒに向けた活動目標
山形県連合小学校長会	理 事	小 関 英 嗣	１ デジタル化による各学校における印刷・コピー枚数の削減 ２ 資源回収等リサイクル活動の再開 ３ 給食の食べきり、残菜・残飯を少なくする取り組み ４ 会議資料のペーパーレス化（ＰＣ使用） ５ 学校からの便りや連絡事項等のメール配信によるペーパーレス化（主に家庭へ） ６ 授業でのＩＣＴ機器利用促進による紙資源節約 ７ 持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）達成に向けた持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）の推進 ～ 特に環境教育 ８ 保護者対象のアンケート、研修会後の振り返り等をスマートフォンへの入力による回答方法にすることによる紙資源節約 ９ 保護者・児童への啓発 ※別添資料①	１ 令和６年度も各小学校独自の３Ｒ活動推進を継続する。 ２ 授業のＰＣ・タブレット端末、電子黒板等のＩＣＴ機器利用促進による紙資源の節約。 ３ ＳＤＧｓを目指す持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）を推進する。（予定） ４ 行動制限が緩和されるようになり、各学校や子育て成会等での資源回収やボランティア活動が再開している。感染症の動向を見極めながら可能な所から活動を推進する。
山形県保健環境活動団体連合会	会 長	五十嵐敏則	○生ごみ処理機購入補助 ○小型家電リサイクル事業 ○不法投棄防止活動 ○環境ポスターコンクール実施 ○廃タイヤ回収事業 ○木材リユース事業 ○資源回収奨励金交付事業 ○ごみステーション・リサイクル ○粗大ゴミ回収斡旋事業 ステーションの新設・修繕 ○食品ロス削減啓発 ※各市町村衛生組織活動例	令和６年度については、各市町村衛生組織連合会の独自事業として、引き続き３Ｒ活動を推進する。
公募		池 田 香	・ １月１２日（木）第２回環境フォーラムさかた世話人会議に出席（酒田市環境衛生課２階大会議室） ・ ５月２９日（月）ごみゼロやまがた推進県民会議に出席（山形県自治会館４階４０１会議室） ・ ６月２８日（水）庄内地域地球温暖化対策協議会に出席（庄内総合支庁４階会議室） ・ ８月７日（月）山形県地球温暖化防止活動推進委員研修会に出席（庄内総合支庁４階講堂３号会議室） ・ １１月３０日（木）環境フォーラムさかた世話人会議に出席（酒田市環境衛生課２階大会議室）	令和６年度も、マイバッグ持参、食品ロスの削減の実践はもちろんですが、環境フォーラムさかた世話人会議、庄内地域地球温暖化対策協議会、ごみゼロやまがた推進県民会議への参加と、本年度は、酒田市景観審議会において、酒田沖洋上風力発電事業の企業選定に向うとのことなので、カーボンニュートラルの実現を進めて行きたいと思います。

所 属	役 職	氏 名	令和５年度の３Ｒに向けた活動状況	令和６年度の３Ｒに向けた活動目標
米沢市消費生活研究会	会 長	石 塚 久 子	・市内飲食店から出された廃油を利用したの石けん作り ・食べ終わった貝殻使用のストラップなどの装飾品の作成 ・米沢市、県（置賜総合支庁）へのフードドライブ食品協力 フードドライブの（米沢市）受付業務 ・米沢市環境フェスティバル『ちきゅうのひろばin米沢』へのブース出展	・前年同様３Ｒに向けた事業活動に取り組む。 ・米沢市、県（総合支庁等）の３Ｒイベントについては積極的に協力したいと考えている。
山形市	環境部長	板 垣 裕 子	・資源回収推進事業によりごみ減量と再資源化を図った。 ・生ごみ処理機等の購入に対して補助を行い、生ごみ減量とたい肥化による循環利用を促進した。 ・「乾燥生ごみと野菜等の交換事業（生ごみやさいクル）」により、たい肥化が容易でない乾燥式生ごみ処理機の生成物（乾燥生ごみ）の再資源化と循環利用、ごみ減量を推進した。 ・雑がみ回収広報袋を配布したほか、資源物引取事業所の周知により、紙類・布類等の再資源化を推進した。 ・事業所から排出される古紙類の再資源化の取組み（お古紙くださいリサイクルシステム）について広報を行った。 ・小型家電リサイクル事業（こでん里帰りプロジェクト）により、使用済小型家電の回収及び再資源化を行った。 ・レジ袋削減を推進するため、スーパー等の協力を得て買い物客のマイバッグ持参率を調査し、その成果を広報した。 ・フリマアプリ「メルカリShops」を活用し、市の不用品やイベントで市民から持ち込まれた家具等の出品・売却や、メルカリエコボックスの配布により、市民のリユースへの意識啓発を行った。 ・市民、事業者、行政が一体となってごみ減量とリサイクルを推進している市民団体「ごみ減量・もったいないねっと山形」の活動支援を行った。 ・同市民団体と連携し、食品ロス削減のため、３０・１０運動（家庭編・宴会編）の実践の推進について広報を行った。	・令和５年度と同様の活動を継続（予定）

所 属	役 職	氏 名	令和5年度の3Rに向けた活動状況	令和6年度の3Rに向けた活動目標
NPO法人 環境ネットやまがた	主 任	河 合 麻 衣	1 コピー用紙の削減 当法人は環境省環境マネジメントシステム「エコアクション21」の地域事務局の認定を受けております。また当法人では「エコアクション21」を認証取得しており、環境負荷削減の活動として、紙使用量の削減等に取り組んでおります。 ①コピー用紙使用枚数、紙ゴミを毎月計測しており、資源回収に出しております。 ②メールマガジン、フェイスブック、ホームページを活用しイベント等の周知を行い、紙（チラシ）の削減等に努めております。 ③オンライン会議やセミナーを開催する際は、資料データをPDFで配布しコピー用紙の削減に努めております。 2 「ストップ温暖化エコカップやまがた」活動事例発表会を開催 10月14日（土）山形ビッグウイングを会場に開催しました。 応募頂いた、県内の温暖化防止活動や廃棄物削減等の活動情報を収集した冊子を作成しております。 3 「やまがた環境展2023」出展 当法人が事務局の「山形県環境保全協議会」「山形県地球温暖化防止活動推進センター」で出展しました。 4 クリーンアップ活動 山形県環境保全協議会（事務局NPO法人環境ネットやまがた）の事業で「酒田港大浜海岸クリーンアップ活動」を開催しました。 日時：令和5年9月30日（土）9時00分～12時00分 会場：酒田港大浜海岸（クリーンアップ活動） TOCHITO（研修会） 人数：26名 内容：スポGOMI（クリーンアップ活動） 海洋プラスチックごみ問題に関する講演 NPO法人パートナーシップオフィス 大谷 明 氏 ※スポGOMI（クリーンアップ活動） 可燃ごみ46袋、不燃ごみ3袋回収しました。 ※別添資料②	令和5年度同等の活動を予定。

所 属	役 職	氏 名	令和5年度の3Rに向けた活動状況	令和6年度の3Rに向けた活動目標
山形県中学校長会	会 員	笹原美百紀	1. 印刷物のリユースとリサイクル 2. 会議資料のペーパーレス化（パソコン・タブレット使用） 3. 授業や家庭学習の課題でタブレット等を利用することで紙資源の節約 4. 給食の食べきり、残菜・残飯を減らす取組（生徒会活動との連携・各学級での取組） 5. リサイクル運動（牛乳パック回収等、PTA・生徒会、業者と連携） 6. 広告チラシの活用（ゴミ箱作り） 7. 総合学習で資料活用・SDGsについて探究学習を行い発表することでの啓蒙活動	・安全・健康面に配慮しながら令和5年度と同様に県内各中学校におけるエコ活動を推進していく。 ・ごみが出る前（ごみを出さない、ごみにしない）に目を向けていく活動とし（左記の）7のような取組にも力を入れていく。
山形県PTA連合会	母親委員長	高橋あゆみ	・山形県PTA連合会理事会（役員会）や山形県PTA連合会母親委員会でごみゼロに関するパンフレット、フードドライブのチラシ、環境展のチラシなどでごみの削減を呼び掛けました。 ・会議会食時の食べ残しがなくなるよう呼びかけました。 ・母親委員会のお便りで体育着や制服等のお譲り会をしている学校の紹介をしました。（県内小中学校児童・生徒のいる家庭に配布予定）	・令和5年度同様の活動を予定しています。
NPO法人 みらい子育てネット山形	理事長	細 谷 由 紀	・地域に呼びかけた、フードドライブを2回開催し、集まった食品や日用品を必要とする方にお分けした。JA東根よってけボボラ様より、一週間に1回捨ててしまうような規格外の野菜や多く収穫できた野菜などを譲り受け、必要とする方にお分けした。 ・集まりがあるときには3010運動の話をして、実行していただくようにした。 ・月に1回お直しの会tikutikuを開催し、リメイクして大切に使う事の大切さや楽しさを知ってもらった。 ・フードパントリーの際におさがり会も行い、リユースについて考えたり、実際にリユースできるようにした。	・令和6年度も令和5年度と同じような活動を考えています。

所 属	役 職	氏 名	令和５年度の３Ｒに向けた活動状況	令和６年度の３Ｒに向けた活動目標
山形県保育協議会	副会長	山 本 幸 子	・ 残食をださない献立の工夫や、栄養バランスを考えたバイキングの取入れた給食の取り組み。 ・ ＩＣＴの導入で、ペーパーレス会議や通信等の取り組み。 ・ 研修要綱周知をメール配信により、要綱印刷、郵送に関わる封筒の削減。 ・ ３Ｒの周知 ・ 資源回収やりサイクル、ごみの活用などの検討 ・ 幼児からのごみ削減や再利用など、体験しながら学ぶ。 (食べれる分だけ盛り付ける。工作。ゴミの分別)	・ 引き続き、左記取り組みを行うとともに、広報誌等による周知を行い、ごみ削減と意識の向上を推進していく。
公募		横 尾 知 子	<個人として> １．生ゴミ処理機を利用し、畑の堆肥として活用の継続 ２．買った食材は使いきり、家の野菜を料理し、買い物回数の削減 ３．買い物に行く際、回収ＢＯＸを利用し、ゴミ分別化の徹底 ４．食品ロスを減らせるよう、「てまえどり」の実行 <事業所として> １．自動車リサイクル部品の説明・推奨の継続 ２．保険業務・研修会等はすべてオンラインとなり、ペーパーレスの取組 ３．電気自動車でＣＯ２排出量削減の継続 ４．中古車両・部品・タイヤ等、オークション・ネット販売の継続	<個人として> ・ 令和６年度は、家庭菜園の種類を増やし、色々と挑戦していきたいです。 ・ 令和６年度も引き続き、３Ｒを実施予定